

# 堤体下流面の漏水について

平成27年12月15日

独立行政法人水資源機構  
池田総合管理所

# 1. 漏水対策工の概要(1/3)

## 1. 対策工を実施する水平打継面

・堤体下流面において、現在も水平打継面を通じた漏水が確認されている箇所について、対策工を実施するものとし以下の計6面を対象とする。

左岸-1、左岸-2、左岸-3、左岸-5、左岸-7、左岸-8

堤体下流面図(左岸側)

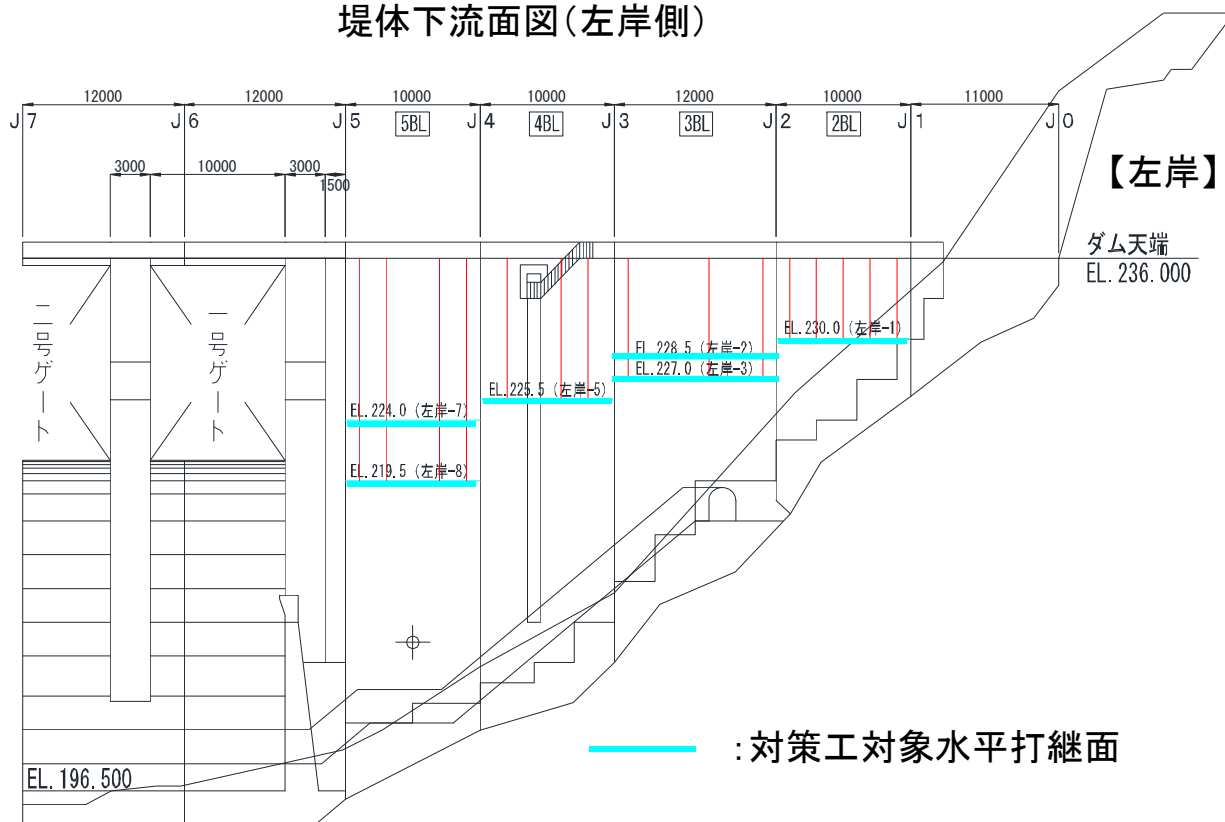


写真1 堤体下流面漏水状況  
(左岸側BL2~5)

平成27年2月5日 貯水位EL.232.96m

(9:00)

図1 対策工対象水平打継面  
1

# 1. 漏水対策工の概要(2/3)

## 2. 対策方法

- ①施工時期 : 全漏水量及び継目の開きが最も大きくなる12月上旬から1月下旬。
- ②工 法 : 堤頂からの機械ボーリングの後、セメント等注入による。
- ③注入箇所 : 各段面の上流側に配置するものとし、過去の注入実績及び堤体構造物を考慮し全15箇所を選定。
- ④注入材料 : 超微粒子セメントを予定(平成24年度と同様)。

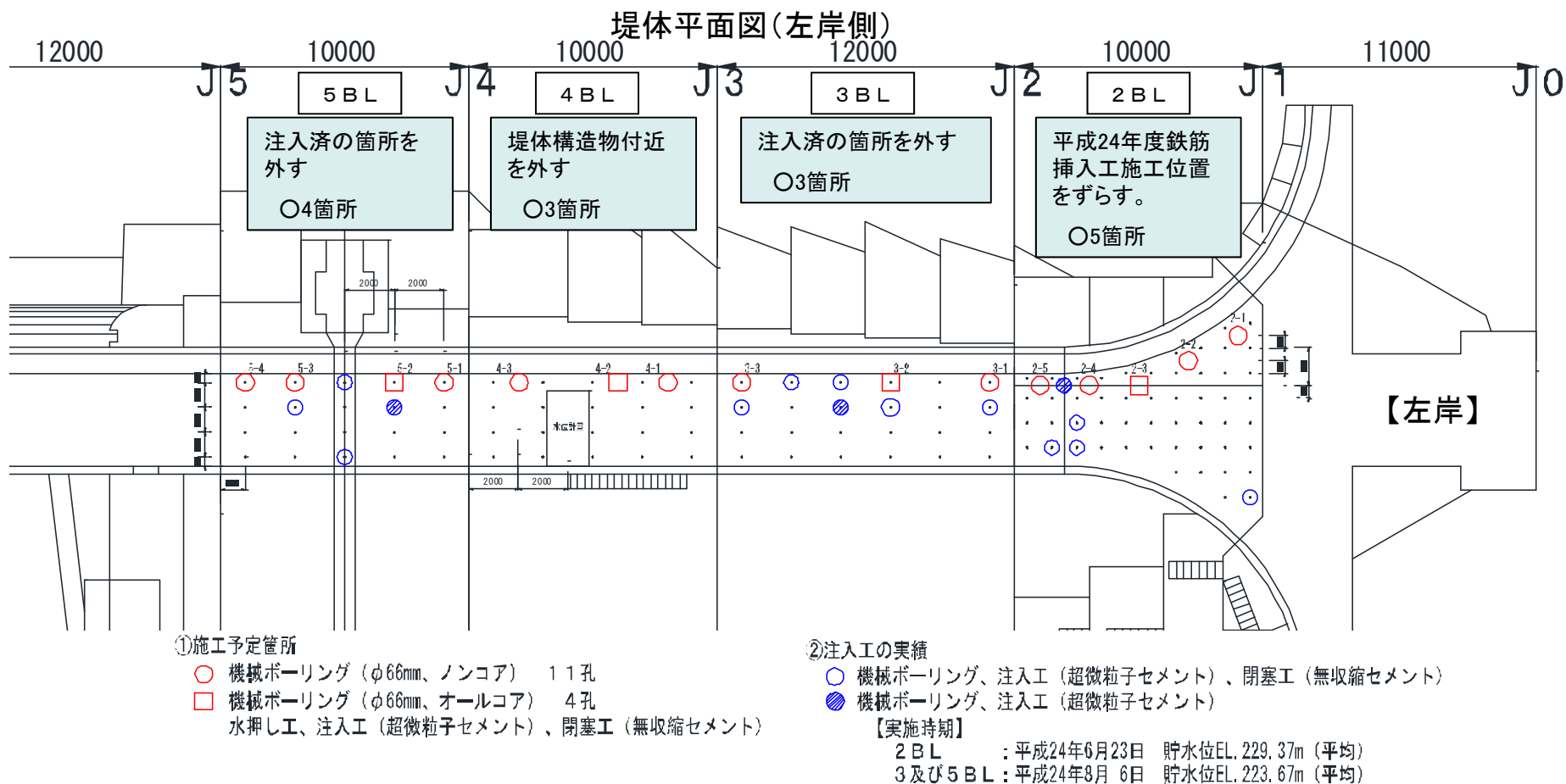
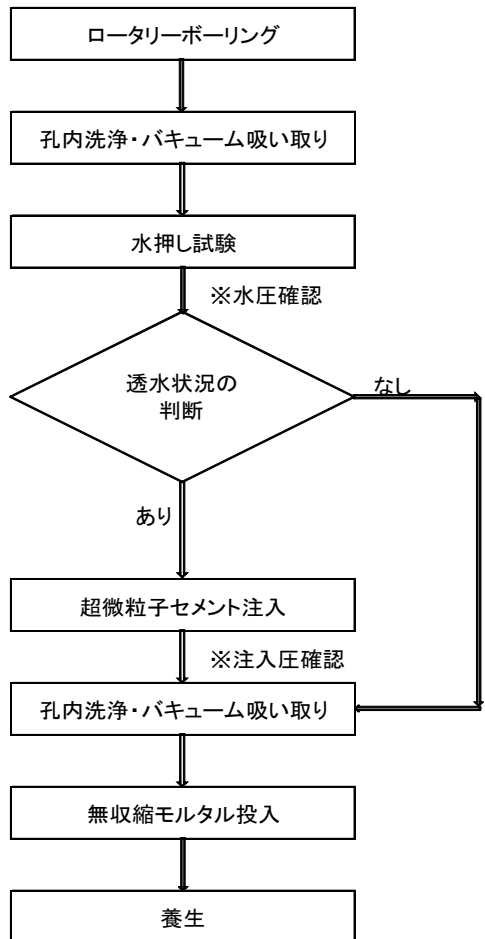


図2 注入工実施箇所

# 1. 漏水対策工の概要(3/3)

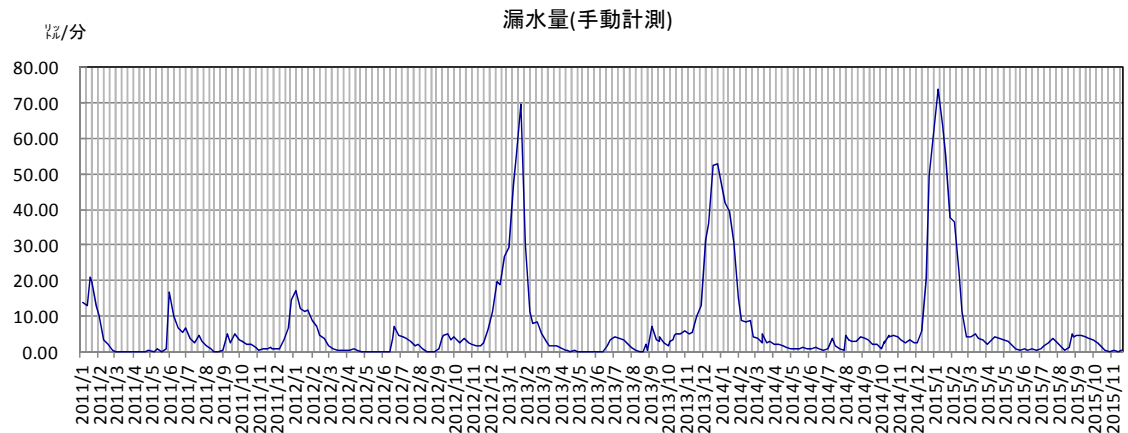
## 3. 施工フロー



施工は、隣接する孔への影響がないよう実施する。また、注入圧力は、堤体に影響のない範囲とする。

## 4. 工程

注入工の施工時期は、漏水量が最も多くなる12月から1月に実施する。



工種・種別・細別	平成27年		平成28年		
	11月	12月	1月	2月	3月
舗装工					
舗装版破碎工		■			
アスファルト舗装				■	
堤体補修工					
機械ボーリング工		■	■	■	
水押し工		■	■	■	
注入工		■	■	■	
閉塞工		■	■	■	
仮設工		■		■	

施工時期は、漏水量が最も多くなる12月～1月

図3 工事工程表